

「藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）に対する
市民意見募集の実施結果について

1. 市民意見募集実施概要

実施概要	
実施期間	令和2年5月7日（木）～令和2年6月5日（金）
閲覧場所	都市整備局市街地整備推進課 青葉区区政推進課 横浜市ホームページ
意見提出方法	電子メール、郵送、FAX、窓口持参
周知方法	・ 広報よこはま青葉区版4月号 ・ 青葉区役所区政推進課 ・ PRボックス（藤が丘地区センター、東急田園都市線藤が丘駅） ・ 市ホームページ、東急(株)ホームページ、昭和大学ホームページ ・ 青葉区連定例会

2. 市民意見募集実施結果

意見提出数：14通（提出方法：電子メール13通、郵送1通）

意見数：21件

3. 意見の内訳

項目	意見数（件）
土地利用について	9
景観形成について	
具体的な施設の提案について	9
計画全般について	2
関連施設計画について	1

4. いただいた意見への対応状況

分類	対応状況	意見数（件）
修正	再整備基本計画原案（案）に反映したもの	4
参考	今後の参考とさせていただくもの	10
その他	ご質問、感想など	7

次ページ以降では、皆様からいただいたご意見とその分類、ご意見に対する考え方を掲載しています。

○ご意見の内容により分類しています。

○いただいたご意見については、原則原文のまま掲載しておりますが、誤記や判読できない文字については、一部削除や表現を編集している場合があります。

いただいたご意見とご意見に対する考え方

No.	ご意見	意見の分類	対応の分類	ご意見に対する考え方
1	<p>現在青葉区ではたまプラーザ、青葉台のような街と藤が丘とでは住み分けができており、とりわけ静かな環境や緑豊かな環境を好む方が藤が丘駅を選んで住んでいるかと存じます。</p> <p>こちらものびのびとした環境で今いる子たちの子育てをしたく、ここ数年以内にあえて藤が丘を選んで引っ越してきた者で御座います。</p> <p>便利な商業施設が出来ることはとても良いことかと存じます。ですが、駅から離れたところに住んでいる高齢者の方々が駅前に住みたいというニーズに応える為に、今のショッピングセンターの上にマンションを建てると言うのは強く反対致します。</p>	土地利用について	その他	<p>商業施設には生活便利・生活支援・地域交流機能の拡充を目指すとともに、駅前立地を生かし、低層部に地域のコミュニティ形成を目指す機能を目指した誘導用途の導入を検討しています。それにより、高齢者の方向けの住み替え提案だけでなく、若年層やファミリー層への魅力訴求などを行い、多世代が集う居住機能の整備を、藤が丘ショッピングセンター権利者と一緒に検討してまいります。【東急(株)】</p>
2	<p>藤が丘の住民は買い物は青葉台に行くことが多く現在のショッピングセンターも空きテナントがあるなか駅前に大型の商用施設は藤が丘駅には不要と思います。</p>	土地利用について	その他	<p>藤が丘SCの建て替え検討では、今後、地域交流・多世代交流・コミュニティの育成に寄与するよう、建物低層部に生活利便施設等を配置し、駅前のにぎわい創出を図るべく、藤が丘ショッピングセンター権利者と一緒に検討してまいります。【東急(株)】</p>
3	<p>駅を出た時の広々とした空間、開放感、緑豊かな公園に魅力を感じて藤が丘で子育てをしている人々が沢山おられます。</p> <p>イメージ図を拝見する限りとても高い建物を建てられるご予定との事、圧迫感があるのんびりとした豊かな環境とはとても言えません。駅周辺の高低差がさほどないエリアにもテナントが入っていない建物等たくさん見受けられます。わざわざ駅の景観を悪くせず、そこへマンションを建てれば良いのではないのでしょうか？</p> <p>高齢者の方の住まい探しも大事かと存じますが、ショッピングセンターがマンションなどというように変わるのであれば今いる子育て世代はとても残念に思います。</p> <p>今の藤が丘の良い点を消してしまわぬよう、どうぞ再度ご検討いただけますと幸いです。</p>	土地利用について 景観形成について	その他	<p>商業施設には生活便利・生活支援・地域交流機能の拡充を目指すとともに、駅前立地を生かし、低層部に地域のコミュニティ形成に資する機能を目指した誘導用途の導入を検討しています。それにより、高齢者の方向けの住み替え提案だけでなく、若年層やファミリー層への魅力訴求などを行い、多世代が集う居住機能の整備を検討してまいります。</p> <p>再整備により、建物（病院）の配置が現在よりも駅に近くなりますが、建築デザイン等の工夫により、圧迫感の軽減や周辺の街並みとの調和を図るとともに、建物は道路や交通広場との境界からセットバックすることによりオープンスペース（広場や空地）を設け、歩行者空間の拡張や憩いの空間を創出します。</p> <p>駅前広場は、広場全体を豊かな緑で彩り、藤が丘らしい公園のような駅前空間の景観形成にむけて、今後詳細を検討していきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>
4	<p>私は、約50年前に家族と藤が丘に転居し、海外勤務等がありましたが、数十年間藤が丘に住んでいる者です。そろそろ完全リタイアを前にし、今まで以上に藤が丘と密接に生きていく者として、下記の通り、簡単に意見を述べさせていただきます。</p> <p>藤が丘駅北口は、他の田園都市線の駅と比べ、明るく開放的な雰囲気があります。それは、駅の周囲に高層建築物がないこと、駅前の公園の存在が大きな役割を演じていると思います。</p> <p>計画では公園が駅から遠くになり、病院の建物が駅の近くになるため、圧迫感が出て、現在の雰囲気が損なわれるのではないかと危惧しております。レイアウト自体の変更が難しいのであれば、病院の建物をもう少し引いた形にするか、建物自体のデザインに配慮いただき、圧迫感を和らげる建築にしていただけると嬉しく思います。</p>	土地利用について 景観形成について	修正	<p>再整備における各施設の配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討した結果、各施設の機能継続や公園も含めた一体性のある空間が創出でき、さらに緑豊かなオープンスペース（広場や空地）など魅力ある空間を創出した計画であると考えています。</p> <p>再整備により、建物（病院）の配置が現在よりも駅に近くなりますが、いただいた意見を踏まえ、建築デザイン等の工夫により、圧迫感の軽減や周辺の街並みとの調和を図るとともに、建物は道路や交通広場との境界からセットバックすることによりオープンスペース（広場や空地）を設け、歩行者空間の拡張や憩いの空間を創出します。</p> <p>駅前広場は、広場全体を豊かな緑で彩り、藤が丘らしい公園のような駅前空間の景観形成にむけて、今後詳細を検討していきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>

No.	ご意見	意見の分類	対応の分類	ご意見に対する考え方
5	<p><素案の根本的問題点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・素案の考え方は、事業者の利益を最大化した上で、市民にも配慮するという考え方であって、市民の利益が十分に配慮されているとは言えないと考えます。 1. 素案の案では、藤が丘駅前公園が人の集まりにくい場所になると考えます。 基本計画素案では、現在、駅前において市民に親しまれ、様々な地域イベントも行われている藤が丘駅前公園が人の集まりにくい病院の背後の坂を登った場所に移転することになっており、公園としての価値が著しく毀損されてしまう。 2. 素案の案では、藤が丘らしい、空の広がる風景が失われると考えます。 基本計画素案では、駅前が高層ビルの谷間になってしまい、藤が丘らしい、駅前に大きく空の広がる貴重な風景が喪われてしまう。 <p><本提案の提示する解決策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤が丘北口エリアを一体的に整備することで、市民、昭和大学藤が丘病院、鉄道事業者、地権者、地元事業者にとってウィン・ウィンの配置を実現する。 ・市民にとって重要な駅前公園を中心に配置することで市民にとっても望ましい、次世代に誇れる街をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> 1. 昭和大学付属病院は素案の通り、現在の駅前公園の位置に移転。 2. 駅前公園を現在の駅前広場（ロータリー）の位置に移転 3. 駅前広場を現在のショッピングセンターの位置に移転 4. ショッピングセンターを新病院の低層部に移転 5. ショッピングセンターの余った容積率で新病院の東側に住宅棟を建設。 <p><整備手法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区計画+区画整理事業（or再開発事業）駅前の2種住居（容積率200%）を容積率300%に緩和 ・公共貢献として、新病院の低層棟に市民活動支援施設を整備 	土地利用について 景観形成について	参考	<p>再整備における各施設の配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討した結果、各施設の機能継続や公園も含めた一体性のある空間が創出でき、さらに緑豊かなオープンスペース（広場や空地）など魅力ある空間を創出した計画であると考えています。</p> <p>藤が丘駅前公園は、公園・病院街区の北東側の周辺からアクセスしやすい谷本公園プロムナードに面して再配置し、駅方面からはバリアフリーで回遊しながらアクセスできるルートの確保などアクセス性や利用しやすさに配慮した計画とします。また、公園に隣接する病院敷地のオープンスペースは市民緑地認定制度を活用することにより、公園単体の機能に留まらない多様なアクティビティと人々の交流を促し、相互の価値向上を図り、人と人を結びつけるコミュニティの拠点として整備します。</p> <p>再整備により、建物（病院）の配置が現在よりも駅に近くなりますが、建築デザインの工夫により、圧迫感の軽減や周辺の街並みとの調和を図るとともに、建物は道路や交通広場との境界からセットバックすることによりオープンスペース（広場や空地）を設け、歩行者空間の拡張や憩いの空間を創出します。</p> <p>駅前広場は、広場全体を豊かな緑で彩り、藤が丘らしい公園のような駅前空間の景観形成にむけて、今後詳細を検討していきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>
6	<p>藤が丘駅は、その名前の通り駅前に藤の木がありまた藤が丘駅前公園にはバラ園と緑があり自然、緑にあふれた駅であると思っています。藤が丘病院は住民にとっては医療の支えですが駅からは緑の向こうに見えることで殺伐とした病院のイメージを払拭出来ていると思っています。現在の再整備計画では駅前に病院があり病院を超えた場所に公園があるという配置がどうにも藤が丘のイメージと合いません。</p> <p>昭和大病院の移転先を以下の場所に検討は出来ないでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.藤が丘ショッピングセンター付近（サイゼリヤ、側まで区画を拡大） リハビリテーション病院との連携も行きやすくなるかと思えます。 2.ハックドラッグ、の区画 駅前からだ公園の向こう側に病院、という現在に近い形となります 3.駅の南側の藤が丘公園 横浜市での調整がしやすい案かと思えます。 駅から病院に向かって上り坂となってしまいますが敷地入り口すぐにエスカレーターを設置などをすればデザイン的にもいいのではないのでしょうか。 4.横浜青葉インター入り口（JA横浜中里支店近辺） 藤が丘駅前のランドマークとしては駅から離れてしまいますが高速のインターに近くなり、救急車の動線や近隣の騒音問題などではプラスになるかと思えます。 広さも十分にありリハビリテーション病院との統合も可能かと思えます。 	土地利用について 景観形成について	その他	<p>再整備における各施設の配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討した結果、各施設の機能継続や公園も含めた一体性のある空間が創出でき、さらに緑豊かなオープンスペース（広場や空地）など魅力ある空間を創出した計画であると考えています。</p> <p>再整備により、建物（病院）の配置が現在よりも駅に近くなりますが、建築デザインの工夫により、圧迫感の軽減や周辺の街並みとの調和を図るとともに、建物は道路や交通広場との境界からセットバックすることによりオープンスペース（広場や空地）を設け、歩行者空間の拡張や憩いの空間を創出します。</p> <p>駅前広場は、広場全体を豊かな緑で彩り、藤が丘らしい公園のような駅前空間の景観形成にむけて、今後詳細を検討していきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>

No.	ご意見	意見の分類	対応の分類	ご意見に対する考え方
7	<p>以前のワークショップにも出席させていただき、いろいろな意見が出ておりましたが、特に多くの人が言っていた「藤が丘らしいホッとできる町」「高い建物の圧迫感」が、現状示されている案では、とても考慮されているとは思えません。</p> <p>そのような中、知り合いのNPO法人横浜青葉まちづくりフォーラムさんが提案している案がとても良いと思ったので、コチラにURLを貼らせていただきます。 https://drive.google.com/file/d/1eqXdXkJ69eLHh_MURFsb7er4RcFXav6a/view?usp=sharing</p> <p>おそらく前述のNPO法人さんから同様の内容の意見も届いていると思いますが、現状案では、駅を降りてすぐバスロータリーを挟んで45mと60mの高いビルが両側にあり、非常に圧迫感を感じ、とても「藤が丘らしいホッとできる町」とは思えません。</p> <p>対して、NPO法人横浜青葉まちづくりフォーラムさんの案は、60mの病院はあるものの、駅前にパーッと公園が広がりホッと出来ます。</p> <p>また、現状案で45mの建物の部分はバスロータリーとなっているため圧迫感がありません。病院の入り口は現状案と同じく駅側にあるわけでないので、来街者の回遊性も保たれます。</p> <p>以上の事から、NPO法人横浜青葉まちづくりフォーラムさんの意見は、地域住民としても商店会としても、新たなたたき台の案として非常に優れていて有効だと思います。</p> <p>東急さんとしては駅から0分に大きなマンションを建てて、高額で販売して利益を得たいでしょうが、私たちの後の世代の人達のためにも地域住民の目で、本気のまちづくりを考えるとハコモノではない、安心間、開放感のある駅前空間を残してあげたいです。</p>	土地利用について 景観形成について	参考	<p>再整備における各施設の配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討した結果、各施設の機能継続や公園も含めた一体性のある空間が創出でき、さらに緑豊かなオープンスペース（広場や空地）など魅力ある空間を創出した計画であると考えています。</p> <p>再整備により、建物（病院）の配置が現在よりも駅に近くなりますが、建築デザイン等の工夫により、圧迫感の軽減や周辺の街並みとの調和を図るとともに、建物は道路や交通広場との境界からセットバックすることによりオープンスペース（広場や空地）を設け、歩行者空間の拡張や憩いの空間を創出します。</p> <p>駅前広場は、広場全体を豊かな緑で彩り、藤が丘らしい公園のような駅前空間の景観形成にむけて、今後詳細を検討していきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>

No.	ご意見	意見の分類	対応の分類	ご意見に対する考え方
8	<p>令和2年4月の基本計画素案を拝見しての地区整備のあり方について提言させていただきます。</p> <p>駅前と公園と商業・住居施設、さらに病院とのゾーニングの組み立てや都市機能や医療機能、商業活動を整合させる基本計画は、本区域の南北に狭く東西に長く、さらに東側にはかなりの高低差もある敷地ではなかなか困難なプログラムの組み立てであったことは想像できます。しかしながら、藤が丘に長く住みその良さや特徴を知る身としては、やはり“藤が丘”らしさのある、他とは違うそのオリジナリティに誇りを感じ愛着を持つことができるような魅力的な再整備を望まざるを得ません。その意味で考えると現状の地区再整備計画は、残念ながら、最もやりやすく、コストや機能優先の内容で、“思い”を感じることができませんし、藤が丘駅前の独特の良さを失いどこにでもあるような駅前となり、藤が丘の顔となる空間の質を喪失しています。</p> <p>■Sense of Placeの欠如</p> <p>藤が丘の特徴は、地形に高低差があって、歩くのは大変なときもありますが、その変化は、山や谷戸ごとの町の多様性であり、また元の雑木林やため池を生かした傾斜地の緑の公園がいろいろなかたちで点在していることで高い緑視率（緑が多いと感じること）や景観やアクティビティの多様性といった特徴があり、住んでいる住民としては変化に富みくらしの豊かさや楽しみにつながっています。</p> <p>現在の藤が丘駅前はまさしくその特徴を体現しています。彫刻や水辺を核にしたのどかなロータリー、その背景には、駅前としては希有な傾斜地を生かしたケヤキやサクラの大木樹林のある緑量の大きい駅前公園が構えており、それを前庭にしたような昭和医大が丘の上に建っています。例えば、駅の改札を出たときや駅前のベーカリー店の2階で食事をしながら窓からその景観を眺めていると藤が丘に住んでいることの良さを改めて認識することができるわけです。この空間構成こそが藤が丘の特徴を捉えたものであり、先人の計画者の力量を感じることができます。一方再整備計画では、病院へのアクセス重視のためか、駅前の誰もが認識するパブリック空間には、公園がまったく感じられないかたちとなっています。そして公園は地区の東端にゾーニングされ、駅前のパブリックスペースと分断され特定の動線を利用する人々にしか馴染みのないものとなってしまっています。</p> <p>■病院の再配置</p> <p>やはり本地区再整備計画で一番重要なことは、住人すべてが共有するパブリックスペース、すなわち、駅前の南北の大通り沿いの空間構成です。通りの西側が駅のロータリーであるので、大通りの東側は基本的には公園であるべきです。病院の機能性を考えるのであれば、地区の北側の通り沿いに、駅前大通りから一定距離東へ下がったところに配置し、町との接点を長くとります。病院は現状の正方形に近いプランから東西に長いかたちのスレンダーな形にして北側通り沿いに配置し、地区の南側半分は公園とし、駅前につないでいきます。南側の公園ゾーンには高低差があるので、病院内のパブリック空間にバリアフリーフリー動線（ELVやエスカレーター）を設け気軽に公園も使えるようにします。このような空間構成にすることで、“藤が丘”ならではの“田園都市の顔づくり”が実現できるものと考えております。議論の少ない急いだ開発はその場所の魅力を損ない、どこも同じような空間になってしまうことが、戦後の急速な都市整備の猛反省すべき点であること、すでに共通の社会認識とっております。決して同じ事を繰り返してはならないと思います。ちなみに、うちの奥さんに「駅前がこんな感じで計画されているよ」といって計画案を見せたところ、かなりショックを受けたようで、「こんなになるなら引越そう」と言われました。悲しいことです。</p> <p>何卒英知を持ってさらなる計画の熟考をお願いしたいと考えております。</p>	土地利用について 景観形成について	その他	<p>再整備における各施設の配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討した結果、各施設の機能継続や公園も含めた一体性のある空間が創出でき、さらに緑豊かなオープンスペース（広場や空地）など魅力ある空間を創出した計画であると考えています。</p> <p>藤が丘駅前公園は、公園・病院街区の北東側の周辺からアクセスしやすい谷本公園プロムナードに面して再配置し、駅方面からはバリアフリーで回遊しながらアクセスできるルートの確保などアクセス性や利用しやすさに配慮した計画とします。また、公園に隣接する病院敷地のオープンスペースは市民緑地認定制度を活用することにより、公園単体の機能に留まらない多様なアクティビティと人々の交流を促し、相互の価値向上を図り、人と人を結びつけるコミュニティの拠点として整備します。</p> <p>再整備により、建物（病院）の配置が現在よりも駅に近くなりますが、建築デザインの工夫により、圧迫感の軽減や周辺の街並みとの調和を図るとともに、建物は道路や交通広場との境界からセットバックすることによりオープンスペース（広場や空地）を設け、歩行者空間の拡張や憩いの空間を創出します。</p> <p>駅前広場は、広場全体を豊かな緑で彩り、藤が丘らしい公園のような駅前空間の景観形成にむけて、今後詳細を検討していきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>

No.	ご意見	意見の分類	対応の分類	ご意見に対する考え方
9	<p>今回発表された藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）並びに昨年9月に出席したワークショップでの意見交換を踏まえ下記の意見提言をする。</p> <p><ユニークな統合的グリーンビルディングの建設を></p> <p>『藤が丘を象徴する公園・病院の一体整備と緑豊かなホッとする居場所づくり』を目指すとした今回の藤が丘駅前地区の再整備計画の核心的なテーマは駅前公園と病院用地の土地交換にあるとみられるが、地域住民としては、この土地交換による再整備の結果、</p> <p>(イ) 公園については、公園の広場の性格やアメニティ機能、防災機能などの多様な機能が引き続き維持され、住民側から見た最大限の活用と公園機能がより拡充され、また、</p> <p>(ロ) 病院については、広域の地域住民をカバーする地域医療の中核病院、救急病院、災害時医療拠点病院として病院機能の高度化や拡充が実現し、健康・医療に関する地域住民の利便性や公益性がより増進されることにより、土地交換によるパレト最適が実現するような再整備の具現化が期待される。しかし、イメージ図を見た限りでは、再整備の結果、</p> <p>(イ) 病院については、今まで以上に病院が駅に近くなり、機能や規模の拡充もあって、病院利用者にとって大きな利便性の向上につながるとみられ評価される。一方、</p> <p>(ロ) 公園については、東側遠方に再配置され、駅前公園としての開放性や景観上の特性が減退するなど、景観上のありようや利用形態も含め利便性などの面で大きく変化するように見える。</p> <p>一番懸念されるのは、駅前の景観がこれまでと大きく変わる点にある。駅前の公園がなくなったうえに、街路樹と建物敷地の植栽はあるものの、駅前に巨大な高層コンクリートビルが2棟建設されるため、圧迫感と閉鎖感を覚え、『緑豊かなホッとする居場所づくり』とはだいぶかけ離れた街区になるのではないかと危惧する。</p> <p>このような懸念を払しょくする対応策の一つとして、最近世界的にも注目されているエコロジカルな、面的にも、立体的にも公園と一体化した緑豊かな新しい概念のビル、『藤が丘を象徴する公園・病院の一体整備と緑豊かなホッとする居場所づくり』を名実ともに実現するようなユニークな景観デザインの統合的グリーンビルディング建設を提言する。なお、電車からもよく見えるエリアなので、電車から見た景観も重要であり、『藤が丘を象徴する公園・病院の一体整備と緑豊かなホッとする』イメージが伝わりやすいシンボルという観点からもグリーンビルディングに注目すべきである。</p> <p>さらに、西側の商業・住宅ビルと東側の病院ビルは、デザインの統一性や整合性にも十分配慮したい。</p> <p>***イメージとしては、下の写真のようなビルが考えられる。</p>	景観形成について	修正	<p>駅前空間や公園の緑、沿道の街路樹など緑豊かな環境は藤が丘の特徴的なところと考えています。</p> <p>駅前地区全体で人々が憩い・安らげる多様な広場を創出するため、公園や歩道と一体的な設えの広場や緑地等の緑豊かな空間を確保し、幅広い利用者が楽しめ、居心地の良さが感じられる多様な「ホッとする居場所」を創出します。</p> <p>駅前広場は、広場全体を豊かな緑で彩り、藤が丘らしい公園のような駅前空間の景観形成にむけて、今後詳細を検討していきます。</p> <p>合わせて、病院については、緑との調和を意識した素材の選定や周辺緑の映り込む軽快なファサードデザインなど、公園や緑に馴染む建物デザインを検討していきます。</p> <p>また、いただいたご意見を踏まえ、病院、商業・住宅が一体的に見える低層部のつくりこみをするなど、統一した建物デザインを検討していきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>
10	<p>商業区域は徒歩圏であるミニ青葉台にしてほしくはなく、藤が丘ならではの特徴をもった区域にしていだきたく思います。誘致する店舗の選定によるのですが、藤が丘になくなった書店(大書店とは異なる、より文化を発する機能を持つような書店)や、生活を豊かにする生活用品を扱うような、日ごろの生活に+アルファを与えるお店ができれば、嬉しくなります。</p>	具体的な施設の提案について	参考	<p>今後の社会情勢や地域ニーズを踏まえ、駅前地区全体でにぎわいを創出する店舗を目指していきます。いただいたご提案につきましては、今後の店舗計画の参考にさせていただきます。【東急(株)・昭和大学】</p>
11	<p>「藤が丘を象徴する公園」にぜひとも藤棚を設置いただきたいと思います。</p>	具体的な施設の提案について	参考	<p>公園については緑量を維持し、公園と一体的な空間として整備する病院敷地のオープンスペースも含め街区全体で緑豊かな空間形成を図ります。いただいたご提案につきましては、3者で共有させていただき、今後、具体的な公園計画の検討の際に参考とさせていただきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>

No.	ご意見	意見の分類	対応の分類	ご意見に対する考え方
12	<p>今回発表された藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）並びに昨年9月に出席したワークショップでの意見交換を踏まえ下記の意見提言をする。</p> <p><ユニークなMY文庫市民図書館の創設を></p> <p>『駅前機能集積と地域連携』のシンボルとして、周辺に本格的で大規模な図書館が無いことにかんがみ、再整備の好機を生かして、本格的な大規模総合図書館の創設を要望したい。</p> <p>しかし、それが難しい場合は、次善の策として、ユニークなMY文庫市民図書館の創設を提言する。現在の社会状況を考察すると、多くの市民の各家庭に眠っていて、断捨離を待っている、あるいは、処分に困っている蔵書は膨大な量に上るものと推測する。</p> <p>そこで、この各家庭に死蔵されている膨大な蔵書の一部（あるいは全部）をMY文庫として寄贈してもらい、全ての市民に閲覧可能にして活性化してはどうか。あわせて、市民のボランティアによる図書館の運営管理も行い、MY文庫の大規模集積体となるユニークな横浜市最大の市民図書館の創設を実現する。</p> <p>市民図書館の創設は、雨天や厳寒で公園が利用できない時の公園補完的な役割や、コミュニティスペースあるいは災害時の避難スペースの確保など多目的な機能提供が可能であり、『ホッとする居場所づくり』や『駅前機能集積と地域連携』に最もふさわしい施設と考える。</p> <p>また、希少な駅前立地の好条件は、広域的な地域住民に利便性を提供でき、公益性意義の高い施設になるものと考ええる。</p> <p>***イメージとしては、荇子田太陽公園にあるローズガーデンの図書館版である。</p>	<p>具体的な施設の提案について</p>	<p>参考</p>	<p>藤が丘駅周辺のミライを考えるワークショップにおいても、地域のみなさんから図書やアート、音楽など文化を感じるまちにしたいというご意見をいただいております。</p> <p>今回の再整備の機会を捉え、地区全体でにぎわいを創出する魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、医療や健康をテーマとした特色ある生活利便施設等、暮らしやすさをサポートする機能や仕組みの導入を図るため、検討を進めていきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>
13	<p>今回発表された藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）並びに昨年9月に出席したワークショップでの意見交換を踏まえ下記の意見提言をする。</p> <p><ユニークな休日駐車場の整備を></p> <p>基本計画では『快適な駅前交通環境の形成』や『モデルとなる駅前の機能集積と地域連携』により、『駅前にふさわしい都市機能の集積と魅力的で賑わいのある都市空間を形成する』としているが、駐車場については、基本計画を見る限り現状と大差ないように見える。しかし、新しい多様な都市機能に対応した十分な大規模駐車場なくして、『駅前にふさわしい都市機能の集積と魅力的で賑わいのある都市空間を形成』するのは難しいのではないかと。『賑わいのある都市空間を形成する』大前提として、「魅力ある商業施設の集積」や「交通アクセスの利便性」は必須の要件である。特に、魅力ある商業施設を集積する大前提として、交通アクセスの利便性充実が不可欠である。藤が丘駅の再整備にあたっては、地域の高齢化が一層昂進することも踏まえ、より一層のバスネットワークの充実や自転車及び電動機付自転車の駐輪場並びに駐車場の充実が必須であり、エリア全体を重層的に整備して地下駐車場にするなど大規模な駐車場スペースの確保を要望したい。</p> <p>それが無理だとしても、次善の策として、病院の駐車場を高度利用、有効活用するユニークな休日駐車場の整備を要望する。</p> <p>病院が休日で駐車場が低利用となる土日祝日などの休日に、病院駐車場を廉価で提供してもらい有効利用することで、エリア全体の公共施設、商業施設との連携を強化し、週末などに買い物や食事、図書館、公園などの『ホッとする居場所』でくつろげる時間を市民に提供できるようにするべきと考える。</p> <p>いずれの案もいろいろ克服すべき問題は多いと思うが、50年先、100年先を見据えて実現を目指し、新しい横浜のモデルとなるようなユニークな再整備を実現して頂きたい。</p>	<p>具体的な施設の提案について</p>	<p>参考</p>	<p>駐車場については、需要に応じた適正規模の整備が必要と考えています。休日の病院駐車場の活用など、いただいたご提案につきましては、3者で共有させていただき、今後の参考とさせていただきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>

No.	ご意見	意見の分類	対応の分類	ご意見に対する考え方
14	<p><素案にある、交通広場の歩道橋の新設は不要></p> <p>人口の減少が見込まれている中で、現在無くとも困っていない歩道橋を新設し工事費を増やす必要は無い。駅前オープンスペースを壊す必要は無く、また新設すれば工事費のみならず維持費も掛かり続ける。税金は無限ではなく、絶対に必要なものに使用すべき。</p>	具体的な施設の提案について	修正	<p>いただいたご意見を踏まえ、歩行者デッキの整備を見直し、地上レベルを主動線とした歩行者動線に計画を見直します。なお、藤が丘駅周辺は高低差があり、高齢化が進行する中でバリアフリー化や安全な歩行空間の確保が望まれることから、駅前広場の改修や、道路や駅前広場に接して敷地内にオープンスペース（広場や空地）を設けることで歩行空間を確保し、歩行環境の改善を図ります。また、病院敷地内に昇降機能を確保し、駅方面から病院南側オープンスペースを介して駐輪場や公園へとつながる連続した歩行者ネットワークを形成することで、バリアフリーに配慮した、安全で快適な歩行空間を形成します。【市・東急(株)・昭和大学】</p>
15	<p><現在の藤が丘駅前公園の、交通広場側の緑をある程度維持すべき></p> <p>現在藤が丘駅からすぐ見える緑豊かな落ち着いた景色。藤が丘らしさ。街路樹だけでなく、現在の藤が丘駅前公園の、交通広場側の緑をある程度維持すべき。基本方針1-1通り。</p>	具体的な施設の提案について	修正	<p>いただいたご意見を踏まえ、道路や交通広場に接して敷地内にオープンスペース（広場や空地）を整備し、舗装や植栽等を歩道と一体的に整備することで、視認性の高いまとまった緑化を誘導するとともに、駅前広場は、広場全体を豊かな緑で彩り、藤が丘らしい公園のような駅前空間の景観形成にむけて、今後詳細を検討していきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>
16	<p>商業施設について、要望をお伝えします。以前、東戸塚駅、たまプラーザ駅に住んでいた事があるので、今の、藤が丘の駅前、商店街のショップは、少し残念です。少し、お洒落で、文化的に生活をしようとする、電車で、青葉台駅／たまプラーザ駅に行くか、車で、国道246号線沿いのロードサイド店に出かける事になります。高級なブランドや飲食は、二子玉川・渋谷・青山・銀座に出かけるので構いませんが、普段使いだけれど、少しお洒落で文化的なショップの誘致をお願いします。</p> <p><コンセプトとベンチマーク></p> <p>コンセプトは、「駅ビルと商店街を歩けば、お洒落で文化的な買い物を楽しめる」です。</p> <p>前述の通り、今の駅前と商店街では、少し物足りません。ベンチマークやポジショニングは以下の通りです。戸塚駅の隣の東戸塚駅、たまプラーザ駅の隣のあざみ野駅、青葉台駅の隣の"藤が丘駅"です。</p> <p>お洒落で文化的な生活や買い物をしようとする、どうしても、電車に乗り、車を運転して、出掛けるという事が発生してしまうので、もう少し充実させて欲しいです。徒歩10分圏内、お洒落で文化的な生活ができる様にお願い致します。</p> <p>具体的には以下の様なショップになります。</p> <p>ファッション 例：ユニクロ、GAP、ZARA等の、ファストファッション 文房具・雑貨 例：無印良品、LOFT、Tokyu HANDS、ニトリ等の小規模店舗 書籍・音楽 例：有隣堂、TOWER RECORDS等 食品 例：成城石井、カルディ等、高級食材を扱うショップ 喫茶 例：スターバックス、タリーズ、エクセルシオール等、ゆっくりできるCafe 飲食（少しコンセプトが異なり、休日に家族で「今日は少し贅沢する？」という感じです）（商店街に地場のお店があるので、駅前にはチェーン展開している人気店が良いと思います）例：回転寿司（スシロー）、焼肉（焼肉キング、焼肉ライク）、とんかつ（勝烈庵）、天ぷら（天一）、ハンバーガー（モスバーガー）、イタリアン（サイゼリア）、洋食（ジロー）、和食（やよい軒）</p>	具体的な施設の提案について	参考	<p>藤が丘ショッピングセンターの建て替え検討の際に、店舗計画のご参考とさせていただきます。【東急(株)】</p>

No.	ご意見	意見の分類	対応の分類	ご意見に対する考え方
17	<p>駅前再開発事業が検討されている件、とても嬉しく楽しみに感じております。素案も簡単ではありますが、確認しました。</p> <p>そこで、川崎市より目的を持って藤が丘へ引越してきた者として、意見と希望を書きます。</p> <p>「病院・健康・福祉に特化した駅」</p> <p>昭和医大と公園との一体化や、駅前ショッピングセンターが新しくなるのは、良いと思います。しかし、近年の田園都市沿線の駅・街作りにマンネリ化を感じると近所の方々とよく話します。それらと同じ素案と感じ、ワクワク感がありません。</p> <p>他駅と同じようなテナントが入る駅ビル・その上にマンション。公園との一体化はグランベリーパーク駅にある鶴間公園の縮小版みたいなものでしょうか？もしそんなイメージでしたら、またガッカリです。</p> <p>せっかく病院と公園と駅が近く、合わせてショッピングセンターも徒歩圏内にあり、若い方も多く男性長寿者も多い青葉区なので、思いきって個性的・モデルな駅にしてみるのはいかがでしょうか？小さい駅だからこそ、可能かと思えます。</p> <p>イメージは、通院する方・患者さん・住民・高齢者・子供達がボーダーレスに交わる事ができるような、設計が希望です。</p> <p>(例) ・通院→駅から病院までのアプローチで信号なし。陸橋。 ・病院→今もあるようなオープンテラス席あるカフェやコンビニを公園横に設置 ・病院→病院や公的・地域発や地域向けの健康増進イベント (地区センターには沢山の高齢者や若いママさん達が講座や図書館を訪れています。) ・病院→保育園や福祉施設も公園近くに併設し地域一体化を可視化 ・公園→患者さんがリハビリ可能な手すりやスロープ遊歩道 (健康運動公園のような…遊具も運動系にする) ・公園→ベンチや東屋を可能な範囲で多用 ・ショッピングセンター→商店街のようになるべく平坦なまま買い回れる個人商店の多用 ・ペットが多い地域なので、ペットフレンドリーな公園やお店</p> <p>ただだと書き、申し訳ありません。ワクワクする、元気になる、健康的になる、そんな個性的な駅であれば、住民として嬉しいです。</p>	具体的な施設の提案について	参考	<p>藤が丘駅の特徴は、駅前空間や公園の緑、沿道の街路樹など緑豊かな環境や駅前に病院・駅前広場・公園などの公共性の強い施設が集まっていることだと考えています。再整備基本計画(原案)(案)では、交通広場などの改修を行い、地上レベルでの各街区間の回遊性を高めることを目指しています。また、今回の再整備の機会を捉え、地区全体でにぎわいを創出する魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、医療や健康をテーマとした特色ある生活利便施設等、暮らしやすさをサポートする機能や仕組みの導入を図るため、検討を進めていきます。いただいたご提案につきましては、3者で共有させていただきます、今後の参考とさせていただきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>
18	<p>藤が丘の住民です。</p> <p>病院⇄公園は構いませんが、ショッピングセンター特にマザーズ(スーパー)は何らかの形で残してほしいです。ショッピングセンター跡地にマンションが建つだけでは、利便性が大分低下してしまうように感じます。</p>	具体的な施設の提案について	参考	<p>いただいたご提案につきましては、藤が丘ショッピングセンターの建て替え検討の際に、店舗計画のご参考とさせていただきます。【東急(株)】</p>

No.	ご意見	意見の分類	対応の分類	ご意見に対する考え方
19	<p>新型コロナウイルスの影響で説明会が中止になってしまいました。</p> <p>まず、私としてはこのコロナウイルスの件でバタバタしているような間に事を進ませてしまう（6月5日までに意見募集の期限を設ける）ような方法は、正直、地域や住民不在になっている感覚を非常に受けるので、駅前再整備の件はコロナウイルス完全終息までストップしてもらいたいと思っています。</p>	計画全般について	その他	<p>昭和大学藤が丘病院は、横浜北部地域の中核的な病院として高度医療等を担っていますが、築40年以上が経過し高度医療への対応や耐震性への課題を抱えており、建替えによる施設や機能の更新が急務となっています。この機会を捉えて、藤が丘駅前周辺の魅力向上を図るため、隣接する駅前施設や公園、商店街と連携して一体的なまちづくりに取り組むものです。</p> <p>新型コロナウイルスにより素案説明会が中止となりましたが、引き続き、事業の進捗に応じて説明会等により情報提供を行うとともに、地域の皆様のご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。【市・東急(株)・昭和大学】</p>
20	<p>藤が丘駅の再開発の素案みました。ワークショップにも参加しています。正直、横浜市側の対応がガッカリです。昭和大と東急の要望をそのまま案とするなんてありえないと思います。</p> <p>既に提出しているNPO横浜青葉まちづくりフォーラムの案の方が、明らかに市民目線のまちづくりだと思います。せめて、素案とフォーラム案の2案を提示するくらいの事でできませんか？</p>	計画全般について	その他	<p>再整備における各施設の配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な制約がありますが、ご提案の内容も踏まえ、引き続き、地域の皆様のご意見を伺いながら東急(株)及び昭和大学と検討を進めていきます。【市】</p>
21	<p>坂が多く、年寄りの身、子供、すべての年代で駅から住宅に歩くにしてもかなりの労力で疲れます。荷物を持ってだと大変です。</p> <p>東急株式会社さんへ（少子高齢化に向けて）駅から1丁目6-16辺りや他或など（他）もデマンドバス（東急コーチ）のような小型バスを走行させて載せたく、切にお願い申し上げます。（東急販売した住宅の所ばかりでなく、up downの多い藤が丘地域には喫緊の問題だと思います。）ぜひ実現を！！</p>	関連施設計画について	参考	<p>いただいたご提案につきましては、東急バス(株)に共有し、今後のご参考とさせていただきます。【東急(株)】</p>